

2018.3.1 平成30年第1回 定例会予算等審査特別委員会

問 本市中心部で問題となっている客引きを防止するための条例を制定する方向で検討中と伺いました。この条例により、客引きがない街を実現するまでしっかり取り組まれていくおつもりなのか、市長の決意を伺います。

答 市長

居酒屋などの客引きが、市内中心部全体に広がり、通行の妨げとなったり、街を訪れる方々に不快な思いをさせている状況となったことから、条例制定に向け検討を本格化することになりました。今後は、市民の皆様や本市を訪れる全ての皆様に、安心して、快適に仙台の街を楽しんでいただけるよう、地域や県地域や県警と連携し、客引きを許さない環境づくりに取り組んでまいります。



●東京墨田区役所にて
客引防止対策について視察
H29年11月25日

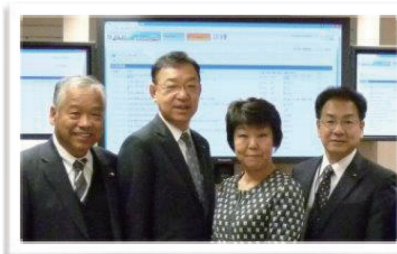
H30.3.7 平成30年第1回 定例会予算等審査特別委員会

問 青葉山公園（仮称）公園センター整備計画の中で、今回約8,000㎡の中央広場が整備されます。この追廻地区は、藩政時代は馬場であったことを考えれば、元々武家屋敷のあった公園センター予定地以外には工作物は作らず、例えば2万人～3万人が一堂に会することもできるイベント会場として、あるいは七夕花火大会の花火の打ち上げ場所としても利用できる多目的広場にするとともに、そこに給排水設備や電源等も整備することで、より利用勝手の良いものにするには必要と思いますが、如何ですか。

答 公園課長

今回整備する中央広場は約8,000㎡の芝生広場で、中央広場の全体計画約5万㎡の一部であり、大規模なイベントにも利用できるものです。今後の整備にあたっては、多様なイベントに対応することを想定し電源の確保や給排水の設備を含め検討してまいります。

私は、
元気な明るい街づくりのために 素晴らしい老後と子育て支援のために
教育は全ての原点です！ 声を出せば仙台は変わる！
そう信じてこれからも行動します！



●静岡県防災センター視察
H30年1月23日



●京都市 市民防災センター視察
H30年1月24日



●防災・減災
調査特別委員長として
H30年1月30日



●宮城県後期高齢者医療広域連合議会
議長として運営
H30年2月6日

西沢ひろふみ仙台市議会レポート

発行所 西沢ひろふみ事務所

〒980-0871仙台市青葉区八幡5-6-1 電話：022-717-6340

【あなたにいちばん近い私です。】



市民の皆さまへ

こんにちは。西沢ひろふみでございます。

常日頃より、私の活動に対しましてご協力を賜り、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

さて、私は昨年9月に防災・減災推進調査特別委員会委員長を拝命致しました。この委員会では、東日本大震災から7年が経過しその記憶が薄れつつある今だからこそ、改めて防災・減災のために、いざという時に自助・共助・公助の行動を取っていただけるよう必要な取り組みについて調査致しております。

また、この度、平成29年度仙台市議会における私の活動の一端を市政報告としてまとめました。ご一読の上、ご意見等賜れば幸いに存じます。

今後とも変わらぬお力添えを心からお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成30年3月吉日

西沢ひろふみ拝

2017.9.22

平成29年第3回定例会 一般質問

問 広瀬通を含む元寺小路福室線の宮城野橋工区（通称X橋）が6月から片側3車線での供用が開始され、当地区の渋滞解消による利便性の向上が図られました。しかし一方で、大型トラックなどの通過車両が増加し、広瀬通や仙台駅前の渋滞が助長されています。今後は市中心部を通過するだけの車両には、「ぐるっ都仙台」などの自動車専用道路の利用を周知するなど対策を講じることが必要と思いますが、如何ですか。

答 都市整備局長

政令指定都市の在する都市圏の中で、初めて完成した高速環状ネットワークである「ぐるっ都仙台」を生かし、都心の通過交通を抑制することは、市内の道路交

通の円滑化に資するものであります。望ましい道路利用に向けた周知について、関係機関と連携して、「ぐるっ都仙台」の利用促進に向けたPRを推進してまいります。



●地域の方々と各都市から頂いてきた東北六県桜の植樹祭
小林前福島市長・奥山前仙台市長と西公園にて H29年・春

2017.9.22**平成29年第3回定例会
一般質問**

問 海外の方を仙台に呼び込む取り組み、即ちインバウンドは重要ですが、忘れてならないのは、双方向性であります。インバウンドだけでなく、アウトバウンドについても積極的な取り組みが必要です。そのためには、まずは、姉妹・友好都市との更なる交流促進を図るべきと思いますが、如何ですか。



●定例会での質疑の様子

答 市長

今後とも姉妹都市を初め協定締結先の各都市などと相互に連携をし、また協力を

しながら、双方向の取り組みを行なうことで本市の交流人口の拡大につなげてまいります。



●奥山前市長と H29年8月9日

2017.9.22**平成29年第3回定例会
一般質問**

問 障害者雇用施策で大変進んでいる岡山県総社市を視察しました。同市は、市内約3,000人の障害者の内、就労が可能と思われる十八歳から六十歳までの方で、就労されていない1,000人をそのまま雇用施策の目標として設定し、6年間で1,000人の雇用を実現しました。本市もこのような成功例を参考に、これまでのような法律上障害者の雇用を義務付けられている従業員50人以上の企業だけではなく、市内すべての地元企業や農家などの個人事業主も含めた地元経済界に対し、障害者も地域の貴重な労働力であるということの一層の理解を求めるとともに、障害

者をひとくくりにするのではなく、障害者の種別、状態など個々の様々な特性に適した仕事を見つけられるような雇用の促進に取り組むべきと思いますが、如何ですか。

答 市長

今後、障害者の方が能力や適性を生かした仕事を担うことが出来るよう、個人事業主を含めた地元企業や御指摘のあった農家の方など、幅広い業種からの業務の掘り起こしに務めるなど、就労促進と雇用の継続につなげてまいります。

●岡山県総社市
片岡市長よりレクチャー
H29年9月6日●東北初の台湾PRイベントである
リトル台湾 市役所前市民広場
謝台湾政府駐日代表と
H29年10月1日**2017.10.5 平成29年第3回
定例会決算等審査特別委員会**

問 北四番丁岩切線の通称中江踏切は、朝7時から夜7時の間で約2時間半も遮断されており、時間帯によって、自動車の渋滞や歩行者の滞留を招くボトルネック踏切と言われています。早期の渋滞等解消のため、鉄道の部分高架化か、この道路の高架化あるいは地下化に取り組むべきと考えますが、如何ですか。

答 建設局長

鉄道との立体交差については、鉄道側を高架化する以外にもご指摘の手法もあることから、中江踏切につきましては、鉄道事業者とともに総合的に比較、検討してまいります。

●北九州市PCB処理施設視察
H29年 11月13日**2017.12.20
経済環境委員会**

問 11月24日に東京で開催された本市PRの場である仙台の夕べに参加しましたが、以前に在仙経験があり、今も中央で活躍されておられ

る各省庁の役人や経済人で最近出席されていない方々も多く見受けられました。今後はこのような方々にも今一度お声掛けするなど、より多くの方々においでいただけるように取り組むことは必要と思いますが、如何ですか。

答 文化観光局長

委員ご指摘の通り、仙台の夕べの目的は、交流人口の拡大や投資の促進であります。この本来の目的を再確認し、過去にお呼びした方で、現在お声掛けしていない方々に対しても、もう一度お呼びするべき方がいないかどうか、全庁的に確認し改善を図ってまいります。

●東京・仙台の夕べ
H29年11月24日2018.1.19**2018.1.19
経済環境委員会**

問 今年6月に施行されるいわゆる民泊新法は、人口減少社会に対応する1つの方策として、政府の2020年インバウンド4,000万人なる計画の実現に向け、海外から来られる観光客の宿泊施

設として、遊休不動産の有効活用を図るというものであります。この実施に向け、本市が制定する予定の条例は、住居専用地域は原則土曜日のみ営業を認めるとするもので、他政令市よりも厳しい規制をかけるものであります。本市は今後どのようなスケジュールで対応していくお考えですか。

●佐世保三ヶ町商店街
日本一元気な商店街視察
H29年11月14日**答 誘客戦略推進課長**

現在実施中のパブリックコメントは、今月22日までとなっており、それまでに頂いたご意見を、その後至急取りまとめて、内容を十分考慮の上、条例案という形で第一回定例会にお諮りします。

●佐世保市 環境施設視察
H29年11月15日

●東京消防庁視察 H29年11月25日